

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	飯田子どもの森公園管理運営事業	会計	一般会計	事業No.	587	施策順No.	45-022
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-4-5-14-1		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり			課等名	土木課		
施策	45 居住基盤の向上			事業期間	開始	14	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市民 公園利用者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		入園者数:人		79000	79500	79500	79500	
	意図	不都合なく利用できる						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	入園者数:人	78830	79490	90500	80000	76205	80000	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		委託業者や指定管理者の取組により年々来園者数が増えているが、22年度は猛暑のため目標数値を下回った。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	イベントの企画運営や、施設の管理、施設利用申込み受付業務を委託している。平成22年度からは指定管理者へ移行した。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 指定管理料 2 施設改修ほか 3 備品購入(複合機)	1 指定管理料 2 改修工事費 3 備品購入	1 1式 2 1式 3 1式
	平成22年度より指定管理者制度に移行した。		
23年度実施計画	1 指定管理料 2 施設改修ほか	1 指定管理料 2 改修工事費	1 1式 2 1式

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		27,400	27,394	27,300		
計 (A)		27,400	27,394	27,300		
正規職員所要時間			500			
臨時職員等所要時間						
人件費計 (B)			1,788			
トータルコスト A+B			29,182			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・自然と触れ合える公園として、市民の評判はよい。 ・指定管理者の選定にあたり一部の議員から、指定管理の手続きと選定理由が不明瞭であるとの意見があった。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、事業者の生活・事業に必要な基盤が整う。	施策の成果指標又はムトス指標	居住基盤の満足度
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	委託から指定管理に移行することで公園の経営意欲が増し、活力ある街づくりの推進に寄与した。やまびこマーチのチェックポイントとして利用していただくことができた。		
	後期に向けた課題	活力ある街づくりの推進に寄与するため、イベント会場としての利用回数を増やすための工夫や平日イベントの充実が必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	指定管理者や参加団体と毎月いろいろなイベントを実施し、来園者増に努めた。		
	後期に向けた課題	集客の少ないイベントの内容の見直しを行う。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	受託者の努力による。		
	後期に向けた課題	受託者の努力による。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	不特定多数の利用のため負担は求めない。しかし、イベントの内容によっては材料費の負担が伴うが適切である。		
	後期に向けた課題	不特定多数の利用のため負担は求めない。しかし、イベントの内容によっては材料費の負担は必要である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	管理運営を受託しているNPO法人伊那谷環境文化ネットワークが、管理棟、遊具等の施設管理や運営を行っている。行政は施設の改修や備品購入等を行い、より市民や利用者のニーズに対応した魅力ある施設を目指し指定管理者制度導入に向けて働きかけた。		
	後期に向けた課題	公園を基点とした活力ある街づくりの推進のために指定管理者と協力していく。		
全体を通じて	4年間の振り返り	指定管理に移行することで公園の経営意欲が増した。また、集客力を上げるためさまざまなイベントを実施した。		
	後期に向けた課題	施設のほとんどが木造の建物であるため、老朽化に伴う補修が増加している。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------